

学力向上フロンティアスクール用中間報告書

都道府県名

富山県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	入善町立入善中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	4	1	11	22
生徒数	107	103	122	1	332	

研究の概要

1. 研究主題

少人数学習集団による教科指導の在り方について

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

第1・2・3学年の数学
 学力の差があることが予想され、以前よりTTによる授業を実施してきた。
 第2・3学年の選択教科
 多様なコースが設置でき、少人数学習集団が作りやすい。

(2) 年次ごとの計画

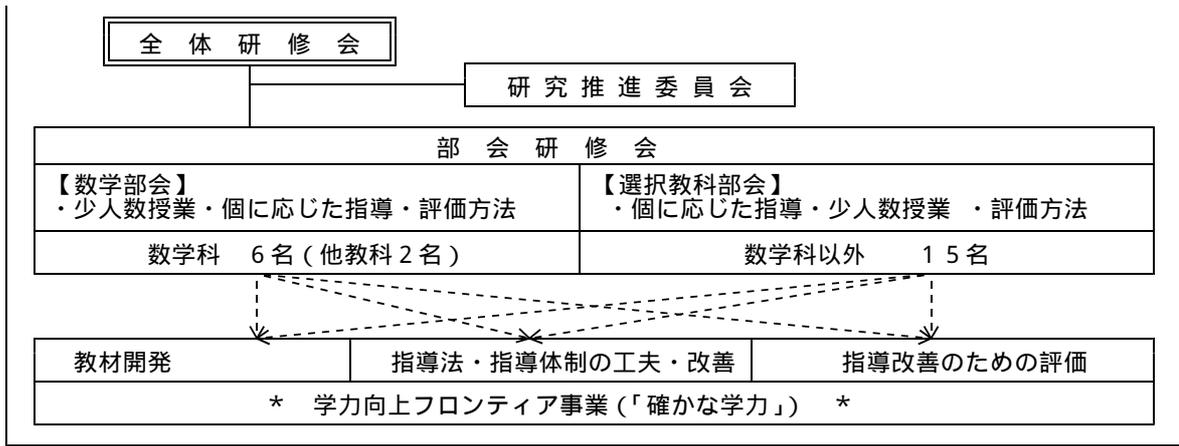
平成14年度	<p>テーマ 少人数学習集団による教科指導の在り方について</p> <p>仮説 発展的な学習や補充的な学習などを少人数学習集団で行うことにより、学力の向上を図ることができる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学科における少人数学習集団の編成方法と指導法の工夫・改善 選択教科における指導法の工夫・教材の開発
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 少人数学習集団による教科指導の在り方について</p> <p>仮説 発展的な学習や補充的な学習などを少人数学習集団で行うことにより、学力の向上を図ることができる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学科における少人数学習集団の編成方法と指導法の工夫・改善 選択教科における指導法の工夫・教材の開発 *昨年度の成果や課題を踏まえて継続的に行うために加えた。 少人数授業の展開と学力の向上の関係についての、定量的な分析方法
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 少人数学習集団による教科指導の在り方について</p> <p>仮説 発展的な学習や補充的な学習などを少人数学習集団で行うことにより、学力の向上を図ることができる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学科における少人数学習集団の編成方法と指導法の工夫・改善 選択教科における指導法の工夫・教材の開発 指導に生かす評価方法の工夫・改善
--------	--

(3) 研究推進体制

平成14年度は、数学、選択教科、評価の3部会の構成であったが、部会として評価に取り組むことがむずかしいという反省から、学校内の研究体制の見直しを図った。
 平成15年度は、数学と選択教科の2部会による構成とし、評価については、どの部会も関わっていくような研究体制とした。



平成15年度の研究成果及び今後の課題

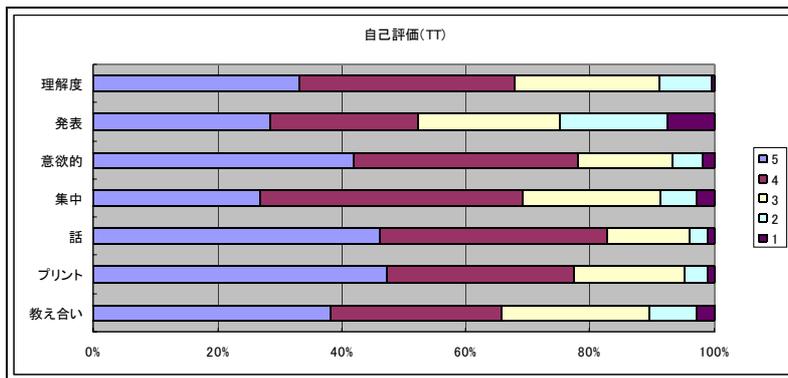
1. 研究の成果

数学科の少人数授業

数学科では、第3学年2学級を、基礎、充実、発展の3グループに分け、少人数授業を実施している。第1・2学年については、1学級を基礎と発展の2グループに分け少人数授業を実施している。

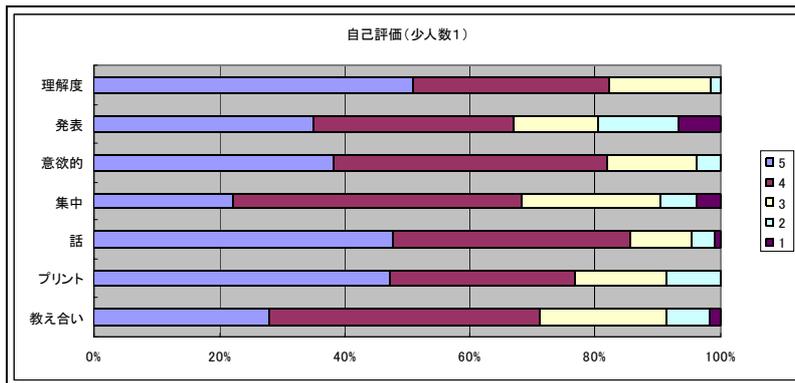
第1学年数学科におけるTT指導と少人数指導における理解度の比較

TTによる指導



- 5 : よくできた
- 4 : できた
- 3 : ふつう
- 2 : あまりできなかった
- 1 : できなかった

少人数による指導



* 理解度の5と4の割合を比較すると、少人数指導の方がTT指導よりも多くなっており、少人数指導の効果がみられる。

選択教科(第3学年)

富山県中学校教育研究会による学力調査(国、社、理、英)の4月調査と11月調査の比較

* 各選択教科を履修している生徒の結果

選択教科	県の平均点との点数差の変化
国語	+8.6点
社会	+0.9点
数学	+1.8点
理科	+9.7点
英語	+3.7点

* 各選択教科を履修していない生徒の結果

選択教科	県の平均点との点数差の変化
国語	+1.1点
社会	+0.2点
数学	+0.4点
理科	+5.1点
英語	+1.1点

- * 県の平均との差を4月調査と11月調査で比べると、選択教科を履修している生徒もしていない生徒も、どの教科においても点数が上昇している。
- * 上昇の度合いを選択教科を履修している生徒としていない生徒の結果で比較すると、どの教科においても選択教科を履修している生徒の方が上回っている。

2. 今後の課題

数学の少人数授業では、各コースの進度を合わせるのが難しい。また、基礎コースに合わせようとするため、進度が全体に遅れがちになる。

数学の少人数授業は、基礎、充実、発展の3コースに分けるのが望ましい。しかし、学年の学級数や、数学の教員の数などの関係で実現がむずかしい。

数学や選択教科のコースの決定は生徒の希望を優先している。その結果、コースに合わないと思われる生徒が希望してくる場合があり、指導者の意図とは異なる学習集団になる場合がある。事前の内容説明の充実、指導の徹底を図る必要がある。

学力の変化を客観的、定量的に分析する有効な方法について、さらに研修を深める必要がある。

学力把握のための学校としての取組

T Tの授業と少人数授業に対する意識調査

- ・目的 T Tの授業と少人数授業に対する意識の差を調査する。
- ・実施内容 理解度、発表、意欲など
- ・時期 1学期、(第1学年)

学力調査(富山県中学校教育研究会の学力調査)

- ・目的 国・社・数・理・英の5教科における学力の変化を調査する。
- ・実施内容 国・社・数・理・英の5教科における観点別の学力
- ・時期 4月、11月

教研式標準学力検査CRT(目標基準準拠評価)

- ・目的 学力を把握し、分析する。今後の指導の参考資料とする。
- ・実施内容 数学
- ・時期 3学期

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

公開授業

- ・日時 平成15年11月20日(木)
- ・場所 入善町立入善中学校
- ・対象 県内教員、保護者
- ・目的 研究の概要と成果の報告

講演会

- ・日時 平成15年11月20日(木)
- ・講師 高浦勝義(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 部長)
- ・演題 「学力向上を旨とした少人数指導の在り方」
- ・場所 入善町立入善中学校
- ・対象 県内教員、保護者
- ・目的 少人数授業に関する研修

H Pの開設

学力向上フロンティア事業の実践内容及び成果については、平成16年2月にアップロードする予定である。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 14年度からの継続校
- 【学校規模】 10～12学級
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
- 【研究教科】 数学 その他(選択教科)
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有